

# 2022年度の活動報告

NPO法人3.11こども文庫

## 目 次

	主 な 行 事 な ど	頁
4月	近隣農家さん宅の裏庭で竹の子掘り	1
5月	おひさまの家上棟式	2
6月	サツマイモ植え体験と麦刈見学	3
8月	三宅島ネイチャー体験ツアー	4
8月	夏休みお楽しみ会と親子キャンプ	5
9月	おひさまの家開所式	6
9月	おひさまの家・お茶会	7
10月	おひさまハロウィン2022	8
11月	おひさまの家・生け花教室	9
11月	おひさまの家・おひさま文庫4周年記念イベント杏さんと一緒に描こう！	10
12月	おひさまの家・恒例の餅つき会ほか	11
1月	第1回 おひさまの家・おひさまマルシェwith子ども達	12
1月	ワークショップ「清藍さんと一緒に書初めをしよう！」	13
2月	ワークショップ「泥絵具で描こう・掛軸に仕立てよう！！」	14
3月	第2回 おひさまマルシェwith子ども達	15
3月	丸山製作所工場見学	16
毎日	おひさまの家・おやつの時間	17
時々	おひさまの家・ケーキを作って食べる！	18
毎日	おひさまの家・宿題をする	19
おひる食堂開催一覧及びイベント一覧		20

## 近隣農家さん宅の裏庭で竹の子掘り

日時	2022年4月19日
担当	おひさま放課後クラブスタッフとおひさまの子ども達
内容	日頃からおひさま文庫の活動を温かく見守ってくれている隣集落の農家Wさんから、ご自宅の裏庭に竹の子がたくさんでているので、子ども達に竹の子掘りの体験をさせてみませんかという声かけをいただいた。
参加者数	10名（子ども6名、大人4名）
当日の様子	スタッフや同行した保護者たちも竹の子掘りの経験がなかったので、まずWさんに竹の子の探し方や掘り方を教えてもらった。要領がわかりだすと、子どもたちは次から次と竹子の子を掘り出して楽しんでいった。20本以上掘って、すべてお土産としていただいた。
子どもの感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさん採れて楽しかった。</li> <li>・竹の子を掘る経験は初めてだったけど、楽しかった。</li> </ul>
スタッフから一言	田舎の環境にあっても、竹の子がでる場所は決まっているので、なかなか竹の子掘りを体験することはできないので、Wさんには感謝しかありません。



## おひさまの家の上棟式

日時	2022年5月11日
担当	おひさま文庫
内容	日本財団による子ども第三の居場所事業の助成金で建築している「おひさまの家」の上棟式を開催した。
参加者数	50名（子ども30名、大人20名）
当日の様子	数日前の天気予報では低気圧通過の影響で豪雨となっていたが、上棟式を行う夕方だけ晴れた。足場の最上階で頭領が安全祈願をした後、約700個の餅投げを行い、集まった子ども達や地域の方々に配った。地元地区の回覧板上で上棟式開催を周知したところ、初めておひさま文庫に来た子が数人いた。
子どもの感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛んでくるお餅をキャッチできず残念だったけど、楽しかった。</li> <li>・初めて、餅投げという光景を見て、ちょっとビックリした。</li> </ul>
スタッフから一言	スタッフは皆、上棟式も餅投げの経験がなく、足場の最上階に立った時は足が震えていたから一言が、上から見下ろす光景は最高であった。



## サツマイモ植え体験と麦刈見学

日時	2022年5月25日、6月24日
担当	おひさま放課後クラブスタッフとおひさまの子ども達
内容	5月25日 東金市立福岡こども園の園児、サツマイモの苗植え(約300本)、園児10名、引率2名 6月24日 同上 園児、麦刈見学、園児12名、引率2名
参加者数	園児22名
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児達は、楽しそうに次々とサツマイモの苗を所定の位置に差し込み、あっという間に300本の植付けを完了した。</li> <li>・麦刈りは、まずコンバインによる麦刈の実演を見学し、その後でコンバインに乗ってみたいという園児に試乗体験してもらった。</li> </ul>
子どもの感想	子ども達はコンバインに興味津々だった。
スタッフから一言	こども園と連携して開催する恒例行事ですが、園児達が苗を植える手つきにはいつも感動します。麦借りは昨年秋に園児たちが撒いた麦はうまく育たなかったので、違う畑で麦借りを見てもらいました。自然相手の農業ではこういうこともあるんだよと話しました



三宅島ネイチャー体験ツアー

日時	2022年8月1日～4日 3泊4日(内、船内1泊)
担当	おひさま放課後クラブスタッフとおひさまの子ども達
内容	海水浴、ボルダリング、島内観光(火山溶岩跡地他)、バーベキュー、花火、海釣り ※コロナ渦のため、島在住の子どもとの交流会は実現できなかった。
参加者数	13人(こども9人、スタッフ2人、保護者ボランティア2人)
当日の様子	バーベキューや片付け等、協力して活動する時はみんなで協力し、海やボルダリング等、遊ぶ時は思い切り楽しんで遊ぶということができていた。キラキラした表情で、仲間と過ごす楽しい時間を満喫していた
子どもの感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シュノーケルで、アメフラシやサンゴを見ることができ、ボルダリング等もできた。貴重な体験をすることができ、感謝しかありません。</li> <li>・BBQの火おこしは、おこした火を炭にするのに苦労したが、楽しかった。</li> <li>・透き通って綺麗な海で、泳ぐのはとても気持ち良かったし、釣りも楽しかった。</li> </ul>
スタッフから一言	一人ではなく、ずっと共に過ごしてきた仲間と一緒に色々貴重な体験をすることで、各々が一回り大きく成長できたと思う。初めて体験することも多々あり、初めて魚を釣り上げるなど心動かされワクワクする体験が沢山できた。このような機会を与えて頂き、心より感謝しています。



## 夏休みお楽しみ会と親子キャンプ

日時	2022年8月2日～3日
担当	おひさま放課後クラブスタッフとおひさまの子ども達
内容	おひさま放課後クラブの6年生を除く子ども達を対象にしたイベントとして、夏休みお楽しみ会と親子キャンプを実施した。
参加者数	お楽しみ会：子ども11名、保護者3名、スタッフ4名 親子キャンプ：子ども7名、保護者1名、スタッフ3名
当日の様子	お楽しみ会は保護者の方々が作った夕食を参加者皆で食べ、その後人気アニメの上映会、花火大会、最後にキモダメシと称して近所の神社まで親子で散歩して終了。引き続きテントに泊まれる親子はテントやおひさま文庫で就寝。朝食を一緒に食べて終了。
子どもの感想	・お楽しみ会では、キモダメシが特に楽しかった。 ・親子キャンプは、テントの中が暑くて寝られなかったが、友達と深夜遅くまで話ができ
スタッフから一言	日本財団からの支援金を活用して、6年生が8月1日から4日で三宅島ネイチャー体験に行き、残った子ども達にこの2つのイベントを実施しできたことは、」とてもありがた伊事でした。



## おひさまの家の開所式

日時	2022年9月2日
担当	おひさま文庫
内容	おひさまの家のオープンを記念した開所式をおひさまの家で開催した。 1部 開所式 2部 パネルディスカッション
参加者数	48名（来客数：35名、スタッフほか：13名）
当日の様子	1部では、鹿間東金市長をはじめ市の子育て関係部署の職員や市議員、日本財団、地元企業の方々が出席していただいた。 2部では、「子どもをひとりぼっちにしないためにーおひさまの家の役割ー」というテーマで東金市の関係部局の方々とこの問題の専門家によるパネルディスカッションを実施した。
子どもの感想	会場のスペースの関係で、子どもたちを参加させることはできなかった。
スタッフから一言	・1～2部を90分の時間の中で実施したため、慌ただしかった。 ・パネルディスカッションの内容はよかったので、地域住民も参加できる形にしておひさまの家の役割をたくさんの人に知ってもらえればよかったと反省している。



おひさまの家・お茶会

日時	9月から月に1回ペースで開催
担当	講師 山下美紀さん（裏千家講師、東金市教育委員）
内容	茶席を介して、こどもたちや保護者たちがゆったりした時間を楽しめるようにと、山下さんがおひさまの家の活用を提案していただき開所（2022/9）から毎月お茶会を行っています。最高の抹茶と自家製和菓子を持参され、基本的なことだけ子ども達に伝え、後は自由なスタイルでという方針で
参加者数	10名
当日の様子	「お茶」席は大人でも経験がないと尻込みするかと思いますが、子ども達は「お茶、美味しかった。もっと飲みたい」と何度も自分でたてて飲んでいきます。和菓子も遠慮なく美味しそうに食べます。山下さんはいつもニコにもしながら子ども達を見守っています。
子どもの感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お抹茶が美味しかった。〇杯飲んだよ！</li> <li>・和菓子も美味しかった。今度はいつやるの。</li> </ul>
スタッフから一言	お茶会は子ども達の人気企画の一つになっています。日頃気むずかしい子が「抹茶が美味しかった！」と迎えに来たお母さんに話していたのを聞いてビックリしました。抹茶の味・山下さんの雰囲気・おひさまの家の落ち着いた環境が合わさった相乗効果があるように思えます。



おひさまハロウィン2022

日時	2022年10月31日
担当	おひさま放課後クラブスタッフとおひさまの子ども達
内容	コロナ感染が発生する前は、地元地区の子供会と一緒に開催していました。この3年間は地元子ども会が開催を見合わせたため、今年も規模を縮小しおひさま文庫独自で開催。協力してくれる隣接する住宅や施設を子ども達が仮装して回ることにしました。
参加者数	22名（子ども20名、スタッフ2名）
当日の様子	今年はいくつ用意すればいいの？と事前に聞いてくださったり、家の入り口に素敵な飾り付けをして待っていて下さったりと。地域の皆様に支えていただいていることを改めて実感しました。 今年、お菓子をいただいたお礼に、子どもたちがイラストや一言書いた小さなカードを配りました。
子どもの感想	・みんなでやる仮装は楽しい！ ・お菓子をいっぱいもらえた。楽しかった。
スタッフから一言	子ども達に、毎回お菓子をいただくだけではどうかなあ？ みんなでお礼のカードを作ってみようか、と提案したら、「いいよ」とのこと。下に掲載した写真のカードがたくさんできました。



おひさまの家・生け花教室

日時	11月から2ヶ月に1回の目安で開催
担当	講師 安達一葉さん（大網白里市在住、五十鈴古流）
内容	おひさま放課後クラブの子ども達にあったスタイルでお花を生ける体験ができないかを考えてくれた結果、「連花」という「花遊び」を取り入れました。いけ手の子ども達が友達がいけた花は動かさない約束で、全体のバランスを見ながら各自がここだと思うところに花を差していきます。
参加者数	10名
当日の様子	先生が約2時間かけて「連花」の準備をし、「生け花教室がはじまるよ」というスタッフの掛け声に低学年の子ども達はどっとやって来て、安達さんの話を聞きながら、バケツに入ったお花から好きなものにとって水切りしミョウバン（殺菌剤）を付けて、ここだというところに刺していきます。高学年になると、1人、2人とバラバラにやって来ては、同じ手順でいけています。
子どもの感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お花が鮮やかで素敵。</li> <li>・やっていて楽しい。</li> </ul>
スタッフから一言	日常生活の中で、生け花をする経験がない子ども達にとっては、一つ一つの作業が新鮮で興味深く感じているようです。しかも絵画に囲まれた空間の中でこのような体験ができることは子ども達の心の成長の糧になると思います。



おひさまの家・おひさま文庫4周年記念イベント杏さんと一緒に描こう！

日時	2022年11月5日
担当	NPO法人3.11子ども文庫理事長 蟹江 杏さん（画家）
内容	「杏さんと一緒に、大きな紙におひさまの絵を描こう！」というタイトルでおひさま文庫発足4周年を記念したイベントを開催した。 当日はおひる食堂（所謂「子ども食堂」のこと）を同時開催、インド料理「ビリヤニ」を提供した。
参加者数	55名（子ども30名、保護者16名、スタッフ9名（講師含む））
当日の様子	・杏さんが大きな紙におひさまに向かう女性の絵を描き、そこに子ども達が描いた「私のおひさま」を貼り付けて、一枚の絵を完成させるという方法で沢山の子ども達が参加した。 ・おひる食堂の「ビリヤニ」は子ども向けに辛さ控え目だったが、美味しいといって平然と食べる子どもいれば、辛くて食べられないという子どももいたが、異文化を感じてもらおうという意図は成功した。
子どもの感想	・杏さんと話せて良かった。 ・おひさまの可愛い絵が描けた。
スタッフから一言	子ども達が思い思いに私のおひさまを描く姿を見ていると、とても楽しくなってきました。



インド料理 ビリヤニ

おひる食堂の様子→



おひさまの家・恒例の餅つき会ほか

日時	2022年12月17日
担当	おひさま文庫、地域の支援者の方々、市内の小学校教員による音楽グループ
内容	例年餅つき会だけの開催だったが、今回は5つのイベント（①餅つき②おひるの食堂③ビンゴ大会④畑ドッジボール会⑤クリスマスコンサート）をまとめて開催した。
参加者数	119名（子ども54名、大人49名、スタッフ（ボランティア含む）16名）
当日の様子	餅つきは今年で5年目となり、ボランティアの方々は餅つきの手順を知っているので流れ作業がとてもスムーズだった（もち米80kg）。おひるの食堂は雑煮。地域の方々がおひさまの家の厨房で雑煮やきな粉餅などの準備をしてくれた。昼食後はビンゴ&ドッジボール大会、そして最後のクリスマスコンサートでは子ども達は絶好調となり、先生達の奏でるメロディーに全身で応えていた。
子どもの感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・餅つきが楽しかった。雑煮が美味しかった。</li> <li>・畑のドッジボール大会は新企画で楽しかった。</li> <li>・コンサートが楽しかったよ。</li> </ul>
スタッフから一言	餅つきは地域ボランティアの応援なしでは出来ないもので、今年もとても助かりました。朝からの喧噪でちょっと疲れが溜まったところに始まったクリスマスコンサート。市内の小学校教員グループとの連携が成功したことは大きな成果だった。参加者120名は過去最高の数となった。



## 第1回 おひさまマルシェwith子ども達

日時	2022年1月15日
担当	おひさま文庫とおひさま放課後クラブの子ども達
内容	昨年12月中旬に子ども達がマルシェをやることを決め、どのような内容にするかを6年生が中心になって話し合い、ワークショップ、フリーマーケットをやることになった。値札付から売上報告まで子ども達が手順を考えて実行した。他方スタッフや地域の大人たちが豚汁と焼きそばを作り、おひる食堂（子ども食堂のことで、子ども無料）を開催した。
参加者数	50名（子ども34名、大人16名）
当日の様子	おひさまの家でこどもフリーマーケットが12店舗（全部子ども達出店）、おひさま文庫でワークショップ3店舗（こども、保護者、その他）、おひさまの庭で豚汁と焼きそばの販売1店舗がオープンした。あいにくの寒空だったけれど、近隣の親子連れも複数来店があり盛況だった。
子どもの感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しかった。またやりたい。</li> <li>・今度は親子で出店したいね。（見学にきた保護者の声）</li> </ul>
スタッフから一言	フリーマーケットでは異年齢で班結成したので、6年生が頑張っていました。責任を持って店番する子、低学年の手助けをする子、買ったばかりの本に没頭している子も一部にいましたが…。自分たちで値付けし、お客さんとやり取りしてお金を手にしたことは、良い経験になったと思います。



ワークショップ「清藍さんと一緒に書初めをしよう！」

日時	2022年1月21日
講師	千葉清藍 氏（書道家）
内容	青藍さんに教えてもらい、自分の書きたい字の練習をして墨と筆の感触を楽しむ。その後、清藍さんがおひさまを描いた大きな紙に、子ども達が思い思いの字を書き込み一つの作品に仕上げる。
参加者数	26名（子ども19名、大人2名（保護者）、スタッフ5名（講師含））
当日の様子	・颯爽とした和服姿で車を降りた清藍さんに子ども達はビックリ。日頃は賑やかで落ち着かない子ども達が興味津々とワークショップの開始を待ち、清藍さんの書道家になるまでの経緯や書道の道具（筆はどんな動物の毛でできているのか等）のお話をキチンとかしこまって聞いていました。幼児から6年生までが参加していたので、書く字（または絵）は様々でしたが、墨と筆の感触を楽しむことができました。
子どもの感想	・とても面白い体験ができた。 ・上手に書くのは難しかった。
スタッフから一言	・清藍さんの立ち振る舞いに威厳を感じたのか、いつも賑やかなおひさまの子ども達がちょっと圧倒されていたように見えたのですが、彼らが書いた字を見ると、やっぱりおひさまのこどもたちだなあと実感した次第です。



ワークショップ「泥絵具で描こう・掛軸に仕立てよう！！」

日時	2022年2月11日
講師	山口健児氏（日本画の画家）
内容	子ども達が日常遊んでいるおひさま文庫の庭先の土で作った顔料の絵の具で絵を描き、掛軸をつくる。
参加者数	33名（子ども22名、大人4名、スタッフ7名）
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達は初めての経験に戸惑いつつも賑やかに掛軸をつくり、思い思いの絵を描いていた。</li> <li>・参加者が多かったため、参加者を「絵を描く」組と「掛軸を作る」組に分けて行ったが、絵を描く時間が足りなく全体に慌ただしくなってしまった。</li> </ul>
子ども達の感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵を描く時間が足りなかったよ。</li> <li>・泥の顔料以外の色も使いたかったな。</li> </ul>
講師からの一言	説明を聞く子ども達のまっすぐな視線、溶いた絵具で描きたいものを夢中で描く姿、掛軸に仕上がった作品を見た表情。精一杯取り組んでいる子ども達の様子に、土から絵具を作ったりいろいろ準備してきた甲斐があったと嬉しくなりました。山口健児



## 第2回 おひさまマルシェwith子ども達

日時	2023年3月26日
担当	おひさま放課後クラブスタッフとおひさまの子ども達
内容	フリーマーケットの出店（子ども 組、大人1組）、ワークショップ（大人2組）
参加者数	45名（子ども25名、大人20名）
当日の様子	花冷えで雨という天気の中での開催だったが、おひさまの家の中は子ども達の熱気でムンムンしていた。今日は2回目の「おひさまマルシェwith子どもたち」。9時に数日前に卒業した「6年生」たちを中心に集まり、あっという間に会場掃除から出展準備を完了。料理に関心のある子はおひる食堂(=子ども食堂)を手伝ってくれた。
子どもの感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のお店が出せて、とっても楽しかった。</li> <li>・レジンアクセリーのワークショップで、キラキラなホルダーを作れて楽しかった。</li> </ul>
スタッフの感想	いつも庭を走り回ったり、屋内で遊んでいる子ども達が働き者に変身した姿をみるこ とができることがとても良かった。



## 丸山製作所工場見学

日時	2023年3月27日
担当	おひさま放課後クラブスタッフとおひさまの子ども達
内容	9時集合、9時半出発、10時～11時半見学、12時文庫に帰る。 広い会議室で会社概要を聞いてから、併設した商品展示ルームを見学した後、工場見学。 最後に、写真にある自走大型農薬散布機やドローンによる散布（水）を実際に見学した。
参加者数	33名（子ども28名、保護者・スタッフ5名）
当日の様子	丸山製作所という農機具メーカーの工場見学でした。昨年に引き続き2回目です。 1～2年生の多くは初めての「工場見学」で興味シンシンでした。大型の自走する農薬散布機の製造過程や消火器を筒から作る過程などを見学。最後は日本で数台しかないという超大型の農薬散布機のデモンストレーションに皆ビックリでした。
子どもの感想	「丸山製作所では昔の機械やポンプとかドローンがいっぱいありました。動かして得るところを見てすごいなぁと思いました。見学させてくれてありがとうございました。」（小1）
スタッフから一言	参加希望者は当初20名程度だったが、直前になり増え33名となり、会社が用意してくれたから一言 中型バスでは乗り切れなくなり、スタッフの自家用車も使うことになり慌てた。



おひさまの家・おやつ時間

日時	平日 16時頃
担当	おひさま放課後クラブスタッフとおやつ当番の子ども
内容	おひさまの家カフェでおやつを子ども達みんなで食べ、ちょっと一息つく時間
参加者数	15名～25名
当日の様子	おやつ時間だよ！とスタッフが声をかけると、屋内外で遊んでいる子たちは一斉におひさまの家のカフェに集まってきます。6年生の当番の子が子ども達の人数を数え、お菓子の種類と数を数えて皆に均等に分けたらよいかを考えます。そしてまず、人数分にお菓子を配分し、余りはジャンケンで決めるやり方が定着しています。画家さんたちの絵を眺めながら、お菓子を食べしてお喋りして一時を過ごしています。
子どもの感想	・クラブ会員が増えて、まとめるのが大変（おやつ係より） ・
スタッフ一言	みんなで食べるおやつは楽しいよね。それもレストランのような明るい雰囲気の中で、時には音楽を聴きながらお喋りしたり、素敵な絵を観ながらおやつを食べることができるなんて羨ましいの一言です。おひさまの家でたくさんお喋りして、楽しい時間を過ごしてください。

支援者さんからの苺の差入をおやつにいただく！



おやつ後のひととき、  
スタッフと語らう



おひさまの家・ケーキを作って食べる！

日時	R05 (2023) 年1月23日 (月) 16時頃
担当	おひさま放課後クラブスタッフとおひさまの子ども達
内容	この日のおやつは、自分でデコレーションしたケーキ。クリスマスの時に近所の雑貨店からいただいたスポンジケーキが残っていたので、スタッフが購入してきたホイップクリームと苺をスポンジケーキに各自でのせて食べるというゴージャスな企画でした。
参加者数	15名
当日の様子	ケーキ作りと聞いて集まってきたのは女子が圧倒的に多かった。男子は外遊びに夢中だったのでしょう。スポンジケーキにホイップクリームを塗って苺を挟むだけの作業なので、自宅でもやったことがあるだろうと思い込んでいました。ところがホイップクリームを絞り出す器具の使い方を知らない子がたくさんいましたが、ワイワイ言いながら楽しそうにクリームを塗って食べていました。
子どもの感想	・美味しかった。またやりたい。 ・みんなで作って食べるのは楽しい。
スタッフから一言	経費節約で生クリームでなく安価なホイップクリームを使ったけど、子ども達が喜んでくれて良かったです。写真を見ると、蟹江さんの高価な絵の前でこういう企画ができることはとてもゴージャスなことだとスタッフには思えますが、子ども達にとってはそれがどうしたのという感覚のようです。



おひさまの家・宿題をする

日時	平日 おやつの後からお迎えが来るまでの間で
担当	おひさま放課後クラブスタッフとおひさまの子ども達
内容	低学年の子ども達はドリルなどの宿題をカフェの広いテーブルに広げて、わからないところをスタッフに質問しながら、自分のペースで宿題をやっています。高学年になると、宿題は学校で終わらせ、この時間は友達と子どもマルシェの企画を考えたり、休日の遊び方を相談したりしています。
参加者数	2～8名
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題をすることは本人の意志に任せてあるので強制はしません（保護者了解済み）が、子ども達のペースに併せてスタッフが考えて、宿題タイムの声かけをし、応援しています。</li> <li>・元教員スタッフが中心となり、特に低学年の子ども達の学習支援をしています。</li> </ul>
子どもの感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おひさま文庫で宿題をするのは楽しい。</li> <li>・自由にできるから良い。</li> </ul>
スタッフから一言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「宿題は自分でやるぞ！」という気持ちの子ども達が多く、うれしく思います。</li> <li>・考える問題はヒントを出しながら一緒に考えるのが楽しいです。</li> </ul>



おひる食堂の開催一覧

日付	人数				内容
	こども	大人	スタッフ (※)	合計	
11月から再開					
2022/11/5	30	16	9	55	インド料理ピリヤニ
2022/12/17	54	49	16	119	雑煮
2023/1/21	19	2	5	26	スリランカカレー
2023/2/23	19	7	3	29	三色丼
2023/3/26	25	11	8	44	焼きそば&けんちん汁
合計	147	85	8	273	

※ スタッフ人数にはボランティア数も含む

イベント一覧

開催日	テーマ	人数			
		こども	大人	スタッフ	合計
2022/4/9	近隣農家さん宅の裏庭で竹の子掘り	6	4		10
2022/5/11	おひさまの家の上棟式	30	20	3	53
2022/5/25	サツマイモ植え体験	40	4	2	46
2022/6/24	麦刈見学	19	3	2	24
2022/8/1~4	三宅島ネイチャー体験	9		4	13
2022/8/2~3	夏休みお楽しみ会親子キャンプ (子ども上記11名の内7名、大人1名、スタッフ2名)	11	4	4	19
2022/8/9	夏休み工作教室	15		2	17
2022/9/2	おひさまの家開所式	0	35	13	48
2022/9/3~4	おひさまの家お披露目会 (地域住民対象)	0	71		71
2022/9/7	おひさまお茶会	5	8	1	14
2022/9/9	おひさま放課後クラブおやつ作り	8		1	9
2022/10/12	おひさまお茶会	10		1	11
2022/10/21	おひさま放課後クラブ芋掘り体験	7		3	10
2022/10/29	茶話会 (親子向け)	3	6	1	10
2022/10/31	ハロウィン	20		2	22
2022/11/2	おひさま生け花教室	10		1	11
2022/11/5	おひさま文庫4周年記念イベント	30	16	9	55
2022/11/19	おひさまお茶会	7	3	1	11
2022/12/10	英語であそび	9	1	4	14
2022/12/12	おひさま生け花教室	10		1	11
2022/12/14	おひさまお茶会	10		1	11
2022/12/16	麦蒔き体験 (東金市立福岡こども園園児)	15		5	20
2022/12/17	餅つき会ほか	54	49	16	119
2022/12/22	おひさま放課後クラブ ショートケーキを作り食べる	20		1	21
2023/1/15	第1回おひさまマルシェ	34	16		50
2023/1/18	おひさまお茶会	10		1	11
2023/1/21	ワークショップ千葉清藍さん	19	2	5	26
2023/2/3	生け花教室	10		1	11
2023/2/11	ワークショップ山口健児さん	22	4	7	33
2023/2/15	おひさまお茶会	10		1	11
2023/2/23	味噌造り	19	7	1	27
2023/3/26	第2回おひさまマルシェ	25	11	9	45
2023/3/27	丸山製作所工場見学	28	2	3	33
合計		395	231	89	715
絵画展					
2022/9/3~10/25	「蟹江杏」展				
2022/11/5~25	こどもアート展				
2022/12/6~12/25	絵本原画展				
2023/1/5~1/25	千葉清藍sumiten2023 福				
2023/2/5~2/25	山口健児作品展				